


go-echo-proxy

標準入力を外部プロセスAの標準入力へ渡し、外部プロセスAの標準出力を標準出力へ渡すぜ（^～^）

Set up

VSCoide の  `settings.json` ファイルを開き、以下の行を追加（抜粋）：

 `settings.json` 抜粋:

```
{
  "go.toolsEnvVars": {
    "LANG": "ja_JP.UTF-8"
  },
  "terminal.integrated.defaultProfile.windows": "Command Prompt",
  "terminal.integrated.profiles.windows": {
    "Command Prompt": {
      "args": ["/k", "chcp 65001"]
    }
  }
}
```

👉 これで、VSCoide のターミナルのデフォルトはコマンド・プロンプトになり、文字エンコーディングを UTF-8 に設定します。

- Windows のスタート・ボタンの横の検索ボックスに [control] と打鍵。
- [コントロールパネル] をクリック。
- [時計と地域 > 地域 > 管理 > システムロケールの変更] をクリック。
- [ワールドワイド言語サポートで...] チェックボックスをチェック。
- [OK] ボタン・クリック。
- PCを再起動。

👉 これで、VSCoide のターミナルが UTF-8 対応になるはず？ ならない。

VSCoide のターミナルを開きなおす。

```
go build
```

Run

```
## Format:
## go-echo-proxy --exe <ExecutableFilePath>
go-echo-proxy --exe Z:/muzudho-github.com/muzudho/go-practice/go-practice.exe
```

